

薬害・医療被害の教訓は生かされているのか

— 厚生労働省と交渉を続けて30年 —

薬害・医療被害をなくすための厚労省交渉実行委員会 設立30周年記念シンポジウム

日時: 2014年7月26日(土) 13時20分~17時
場所: 日比谷図書文化館4Fスタジオプラス(小ホール)



薬害・医療過誤・倫理違反
保険不正請求・科研費不正
情報非開示 etc..

テーマ
個別問題を通して見えた厚労省の姿勢と課題

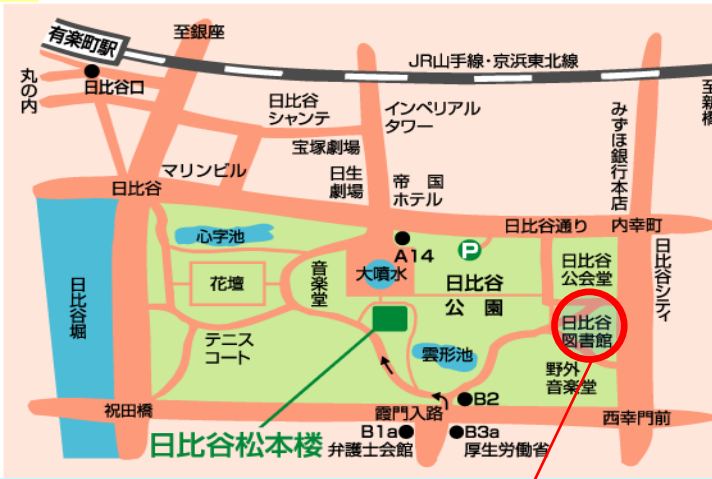
- I 部 交渉の始まりと30年の総括
- II 部 闘いからの教訓
 - ①富士見産婦人科被害者同盟
 - ②大鵬薬品労働組合年の教訓
- III 部 諸団体からの報告と教訓

(開場13:00 先着60名・資料代500円)

1984年2月から始まり、この7月で第88回を数える。一日中厚労省の 担当者と向き合い 真摯な議論が続けられ、一般市民の視点から改善要求をしてきた厚生労働省交渉。

この闘いに生命(いのち)をかけた仲間、スモンの古賀さん、クロロキンの横沢さん、HIVの石田さん
ライ症候群の本畝さん、救急医療の長尾さんの激しい胸の炎を、今も引き継ぐ

- 共催
- ☆医療情報の公開・開示を求める市民の会
 - ☆陣痛促進剤による被害を考える会
 - ☆「脳死」臓器移植に反対する関西市民の会
 - ☆富士見産婦人科病院被害者同盟
 - ☆大鵬薬品工業労働組合
- 協賛
- ☆医療過誤原告の会
 - ☆医療の良心を守る市民の会
 - ☆全国薬害被害者団体連絡協議会
 - ☆患者の視点で医療安全を考える連絡協議会
 - ☆日本接骨師会



主催
薬害・医療被害をなくすための厚労省交渉実行委員会

<http://koroshokosho.hotcom-web.com>

連絡先 e-mail tekayama@mti.biglobe.ne.jp (高山)

日比谷図書文化館
千代田区日比谷公園1番4号
最寄り駅 丸ノ内線霞ヶ関駅(B2)